

## 令和3年度 倫理部会講習会の報告

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会

関西支部倫理部会長

鳥井 総司

倫理部会では、令和元年度（昨年度はコロナ禍で見送り）の「パワハラとセクハラの定義及び対応策、実例紹介」のほか「独占禁止法遵守とコンプライアンス」講習（平成28、26年度）、社会倫理の概念の枠を広げて、長時間労働の問題（平成27年度）、メンタルヘルス（平成25年度）と様々なテーマを取り上げて開催してまいりました。

倫理部会としては、部会活動の一環として、より広い視点で社会倫理に関する時の話題を取り上げ、業界を取り巻く環境の変化に対応すべく、会員一同が共通の意識で倫理的な対応ができるように開催内容を決定しております。

今年度は、情報倫理の観点から「コロナ禍におけるリモートワーク推進における情報セキュリティ対策」の講習会を行いました。今回は、関西支部として初めての取り組みとしてWeb配信講習形式「ZOOM ウェビナー」での開催形式をとり、より有意義な講習会となるように企画いたしました。その開催結果の概要を報告いたします。

### 1. 講習会の概要

- (1) 日 時 令和3年7月21日（木） 10:00～12:00
- (2) 場 所 Web配信講習形式 「ZOOM ウェビナー」
- (3) 講習会名 「コロナ禍におけるリモートワーク推進における情報セキュリティ対策」
- (4) 講習内容および講師
- (5) 1) 開会挨拶 押領司支部長  
2) 講習内容
  - ① 映像で知る情報セキュリティ妻からのメッセージ（DVD映像）  
～ テレワークのセキュリティ ～
  - ② ニューノーマル時代におけるセキュリティの現状と課題
- 3) 講師：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）  
セキュリティセンター 企画部 中小企業支援グループ  
研究員 佐藤 裕一 様 （さとう ゆういち）
- 4) 閉会挨拶 倫理部会 實岡部会長（新）
- (6) 参加者数 13社49名（CPD認定書発行32名）

## 2. 出席者の状況とアンケート調査結果

出席者は、協会員 44 名に加え、主催者・講師 5 名、計 49 名の参加となった。

アンケート調査では、32 名の方から回答をいただいた。この内訳は、「講習会に参加した感想」として“大変有意義だった”、“有意義だった”が 2 題平均で 94%であった。また、「今後の仕事の係りについて」は、“積極的に生かしたい”、“部分的に生かしたい”が 2 題平均で 97%であった。この結果から、改めて本テーマの適時性と有効性を確認した。

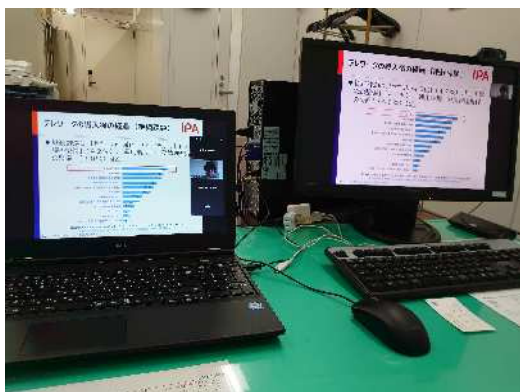
## 3. 最後に

我々の業界では、時代の変化による多様な発注形態への対応や若手雇用・育成の課題のみならず、従業員への指導徹底など、多面的な対応が求められています。

このような中、コロナ禍の対応のみならず、働き方改革に取り組まれている水コン協会各社におかれましても、様々な取り組みを行っていると思われませんが、今回のテーマである「コロナ禍におけるリモートワーク推進における情報セキュリティ対策」の講習を受講し考えることは、情報倫理的な認識を深めていただくためにも大変有意義なものでした。

水コン協としては、本テーマやこれに関連する事項に係る技術提供、情報共有など、講習会等を通して継続的に貢献することが求められていると考えております。

### 《 倫理部会講習会の様子 》



＝ 講演の様子 佐藤講師 ＝



＝講演の様子＝

以 上